

1-1 子育て支援の充実

事業費 66億7,661万円

財源	国のお金	24億 307万円	施策実現のための 主な事業費	子どものための教育・保育給付費	29億8,649万円
	県のお金	15億4,759万円		児童手当給付費	10億6,447万円
	市の借金	5,990万円		福祉医療費	8億7,202万円
	その他	2億1,515万円		児童扶養手当給付費	3億8,291万円
	市のお金	24億5,090万円		その他	13億7,072万円

すべての家庭が、育てる喜びを感じながら安心して子育てができ、かつ地域全体で子育てをささえていくまちを目指します

主な具体的取り組み事業

◆若者交流事業 (180万円)

民間事業者の方々が実施する独身男女の出会いの場の提供を後押しします。

◆幸せブーケス事業 (1,267万円)

結婚祝金制度と、出会いのきっかけを得やすい「友達」との繋がりを利用して、婚姻数増加へ取り組みます。

◆三世帯同居等促進住まい支援事業 (1,625万円)

子育て世帯にとって、親世帯との3世代同居は、子育てをはじめ、仕事と家庭生活の両立、経済的な効率性の観点では有効な家族スタイルと考えられることから、親世帯と同居や近居をしようとする子育て世帯の住宅取得等に対し支援します。

◆地域子育て支援拠点事業 (4,877万円)

乳幼児及びその保護者や、妊娠中の方が相互の交流を行う場所を開設し、子育てについての相談、情報の提供、助言等の支援を行います。

◆浅舞感恩講保育園整備助成事業 (1,160万円)

浅舞感恩講保育園の大規模修繕事業に対して、社会福祉法人浅舞感恩講に補助を行います。

◆子どものための教育・保育給付費 (29億8,649万円)

「子ども・子育て支援法」に基づき、保育所等に対する財政支援を行います。
(私立保育所等 24 か所・認定こども園 6 か所、令和2年4月1日現在)
また、保護者に対して保育料等の助成を行います。(所得制限あり)

◆十文字地域統合小学校学童保育施設整備事業 (1億2,032万円)

令和3年4月の十文字地域統合小学校の開校に合わせ、十文字地域の学童保育施設を東部と西部へそれぞれ一か所ずつ再編整備します。



1-2 健康な心と体づくりの推進

事業費 37億5,388万円

財 源	国のお金	1億 231万円	施 策 実 現 の た め の 主 な 事 業 費	後期高齢者医療制度費	14億 299万円
	県のお金	5億4,525万円		国民健康保険特別会計繰出金	8億4,796万円
	市の借金			病院事業費	7億8,671万円
	その他	2億2,389万円		予防接種事業	2億 642万円
	市のお金	28億8,243万円		その他	5億 980万円

市民が住み慣れた地域で健康でいきいきとした生活を送り、年齢を重ねても自分の健康に自信を持てる市民が増えていることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆救命救急センター医療運営経費 (2,190万円)

重症救急患者の医療確保のため、地域救命センター機能を有効に活用し、地域住民の救急医療の効率的な確保を図ります。

◆在宅当番医制運営費 (446万円)

休日(日曜日・祝日)に急に病気になった場合、横手市医師会のご協力により、休日診療(当番医制)を行います。
また、救急活動を広くお知らせするために「救急フェア・救急のつどい」を開催します。(9月上旬)

◆病院群輪番制運営費 (2,752万円)

平鹿総合病院、市立横手病院、市立大森病院の3病院が共同連携して、輪番制方式により休日・夜間等における重症救急患者の入院治療を実施する体制を確保します。

◆がん検診事業 (1億5,215万円)

胃がん、大腸がん、肺がん、子宮頸がん、乳がん等のがん検診事業を実施します。
今年度 21 歳になる対象者に子宮頸がん、今年度 41 歳になる対象者に乳がんの検診無料クーポン券を発送し、早期発見・早期治療を目指します。

◆後期高齢者歯科健診事業 (403万円)

今年度 76 歳と 79 歳になる後期高齢者医療加入者を対象とした歯科健診を行います。

◆健康の駅推進事業 (2,622万円)

子どもから高齢者まで、みなさんが安全で効果的な健康づくりが実践できるよう支援します。
健康運動の指導のほか、健康の駅よこてトレーニングセンターの健康増進機器を一部更新します。



健康の駅トレーニングセンター

1-3 健康でいきいきとした高齢社会の推進 事業費 28億2,623万円

財源	国のお金	8,424万円	施策実現のための 主な事業費	介護保険特別会計繰出金	20億 407万円
	県のお金	5,845万円		高齢者福祉施設入所措置費	3億3,717万円
	市の借金			市営介護サービス事業特別会計繰出金	2億1,551万円
	その他	1億2,030万円		老人ホーム費	7,339万円
	市のお金	25億6,324万円		その他	1億9,609万円

横手市に暮らす誰もが、未来へ希望を抱き生きていくために家族の絆・地域の絆を深めともに支えあい、助けあう地域社会が形成されていることを目指します

主な具体的取り組み事業

- ◆緊急通報体制整備事業 (1,609万円)
一人暮らし高齢者等の世帯に対し、世帯員の急病や災害発生時などの緊急時に身寄りの方へ速やかに通報するための装置をお貸しします。
- ◆雪下ろし雪寄せ支援事業 (4,438万円)
自力での除排雪、雪下ろしが困難な世帯に業者等をあっせんし、課税状況に応じて費用の一部を助成します。
- ◆地域密着型サービス施設等整備事業 (1,394万円)
空き家等を活用し、地域に密着した居宅介護サービスを提供する社会福祉法人等が行う施設等整備事業に対し補助を行います。



雪下ろし支援の様子

1-4 障がい者(児)福祉の充実

事業費 22億9,407万円

財源	国のお金	11億3,564万円	施策実現のための 主な事業費	自立支援給付費	20億3,114万円
	県のお金	5億4,628万円		地域生活支援事業費	7,481万円
	市の借金			特別障がい者手当等給付事業	7,300万円
	その他	13万円		自立支援医療費給付事業	6,202万円
	市のお金	6億1,202万円		その他	5,310万円

障がいのある人もない人も互いに支え合い、協働し、すべての市民の笑顔が輝いて、いきいきと暮らしていることを目指します

主な具体的取り組み事業

- ◆自立支援給付費 (20億3,114万円)
障がいのある方が必要とする福祉サービスが利用できるよう受給決定をし、適切なサービスの提供を行います。
- ◆補装具費支給事業 (2,200万円)
障がいのある方の身体機能を補完又は代替えし、日常生活の能率向上を図るため補装具(義肢、車椅子等)の支給を行います。
- ◆特別障がい者手当等給付事業 (7,300万円)
日常生活に常時特別の介護を必要とする在宅重度障がい者(児)に対し、手当を支給します。

1-5 低所得者福祉の充実

事業費 13億4,687万円

財源	国のお金	8億8,865万円	施策実現のための 主な事業費	一般扶助費	10億5,555万円
	県のお金	800万円		公営住宅管理費	1億 535万円
	市の借金	6,070万円		公営住宅整備費	1億 64万円
	その他	1億 494万円		施設事務費	4,744万円
	市のお金	2億8,458万円		その他	3,789万円

市民が、住宅の確保が困難となるなどの生活困窮に至るリスクを回避し、自立した生活を確立して、いきいきと暮らしていることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆生活困窮者自立促進支援事業 (1,929万円)

生活困窮者に対して、自立や就労に向けた様々な支援サービスを総合的、一体的に提供することにより自立を支援します。

◆公営住宅整備費 (1億64万円)

南朝日が丘住宅や西野団地住宅などの市営住宅の改修工事を行います。

1-6 福祉を支える人材の確保と育成

事業費 1億7,433万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	総務関係費	1億 41万円
	県のお金	1,818万円		民生委員児童委員費	3,162万円
	市の借金			長寿祝金支給事業	1,408万円
	その他	42万円		敬老事業	1,037万円
	市のお金	1億5,573万円		その他	1,785万円

地域福祉活動やボランティア団体に参加する市民が増えて、地域での見守りや助け合いの活動が活発に行われていることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆地域福祉推進事業委託経費 (8,108万円)

誰もが安心して暮らせる地域社会を目指して、様々な地域福祉活動を推進します。

◆特別弔慰金事務費 (674万円)

戦没者等のご遺族に対して、法に基づき特別弔慰金を支給します。

◆長寿祝金支給事業 (1,408万円)

- ・4月から翌年3月までに満88歳をお迎えになる方へ敬老月間である9月に賀詞と1万円相当の商品券を贈呈します。
- ・満100歳をお迎えになった方に賀詞と10万円相当の商品券を贈呈します。



敬老会の様子

2-1 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実 事業費 3億3,347万円

財源	国のお金	182万円	施策実現のための 主な事業費	学校生活サポート事業	8,015万円
	県のお金	272万円		外国語教育・国際理解教育推進事業	5,421万円
	市の借金			学校保健管理事業	4,355万円
	その他	3,343万円		小学校指導要領改訂経費	3,365万円
	市のお金	2億9,550万円		その他	1億2,191万円

ふるさと横手を愛し、学ぶ意欲にあふれ、確かな学力を身に付けた児童生徒が健やかに成長していることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆「横手を学ぶ郷土学」創設事業(849万円)

市内小中学校において、横手を学ぶ郷土学総合テキスト「よこてだいすき」「横手市の文化財」を活用した郷土学習の充実や地域伝統芸能の継承・育成を推進します。



横手を学ぶ郷土学総合テキスト「よこてだいすき」

◆小学校指導要領改訂経費(3,365万円)

新学習指導要領が全面実施となり、小学校では新しい教科書を使つての授業が始まります。それに伴い、教師用教科用図書、指導書及び指導者用デジタル教科書を購入し、より一層きめ細かな授業を行っていきます。

◆食育推進事業

(横手のごっつおさん事業)(243万円)

市立小中学校の児童・生徒を対象にした「横手のごっつお給食」や、市内保育園児を対象にした「冬野菜を食べる会」の実施など、横手市の豊富な食材を給食として提供する取り組み等を通じ、食育の推進を図ります。



「横手のごっつお給食」パンフレット

2-2 安全で安心して学べる教育環境の整備 事業費 42億9,532万円

財源	国のお金	6億7,062万円	施策実現のための 主な事業費	小学校統合事業	26億8,196万円
	県のお金			学校給食事業	4億9,604万円
	市の借金	20億3,170万円		小学校管理費	2億5,726万円
	その他	3億4,924万円		スクールバス運行事業	1億9,186万円
	市のお金	12億4,376万円		その他	6億6,820万円

児童生徒が、未来の横手市を担って新しい時代を生き抜く力を身に付けるため、互いに協力し合い切磋琢磨しながら学習することができる、安全で安心な教育環境が整備されていることを目指します

主な具体的取り組み事業

- ◆**スクールバス運行事業（1億9,186万円）**
児童・生徒の遠距離通学における負担軽減や、校外授業などにスクールバスを運行します。
また、令和3年4月に開校予定の十文字地域統合小学校用として、スクールバスを4台購入します。
- ◆**小中学校ICT環境整備事業（1億1,276万円）**
児童生徒の情報活用能力の育成、ICTを効率的に活用した「分かりやすく深まる授業」の実現のため、大型提示装置及びタブレット端末の導入を行います。
- ◆**小学校統合事業（26億8,196万円）**
令和3年4月に開校を予定している十文字地域統合小学校の建設工事（2年継続工事）および必要な備品等を整備します。

2-3 元気なまちを築く生涯スポーツの促進 事業費 6億8,718万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	屋外体育施設費	4億7,976万円
	県のお金			屋内体育施設費	1億 174万円
	市の借金	3億7,790万円		体育施設総務費	4,735万円
	その他	1,196万円		市民スポーツ振興事業	982万円
	市のお金	2億9,732万円		その他	4,851万円

スポーツを通して、市民一人ひとりが心と身体を豊かにし、健康で活力ある生活を送っていることを目指します

主な具体的取り組み事業

- ◆**競技スポーツパワーアップ事業（881万円）**
競技力向上を目的に各競技大会の開催や効果的な競技力向上を目的としたスポーツクリニックなどを開催します。
- ◆**テニスコート管理費（大森地域）（3億8,288万円）**
大森公園テニスコート4面の改修と新たにテニスコート8面を増設し、気軽にスポーツを楽しめる環境を整備します。
- ◆**陸上競技場管理費（十文字地域）（3,591万円）**
第3種陸上競技場としての更新年度となるため走路改修や計測機器更新、競技器具等の補修・補充を行います。



スポーツクリニックの様子

2-4 活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進 事業費 3億6,128万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	増田まんが美術館費	1億 946万円
	県のお金	231万円		公民館費	6,872万円
	市の借金			図書館費	6,535万円
	その他	1,482万円		生涯学習施設費	5,440万円
	市のお金	3億4,415万円		その他	6,335万円

多様な生涯学習の機会が提供され、市民が『いつでも』『どこでも』『だれでも』『なんでも』学べるとともに、優れた芸術文化に親しむことができ、また、より良い読書環境が整えられ、市民が自らの考えで行動し、人生をより深く生きることができるとを指します

主な具体的取り組み事業

- ◆生涯学習推進事業 (484万円)
学校・家庭・地域の連携・協働により、地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支えていく活動を推進します。また、学びによる「まちづくり・人づくり」の実現を目指し、様々な生涯学習支援を行います。
- ◆秋田大学横手分校事業 (254万円)
大学が有する様々な人材や設備、能力を活用しながら、多様な学習機会の提供を行います。
- ◆増田まんが美術館費 (1億946万円)
横手市増田まんが美術館を中心に、マンガを活用したまちづくり事業を展開していきます。



「マンガ原画の聖地」横手市増田まんが美術館

2-5 よこての伝統文化の継承と再発見 事業費 1億7,228万円

財源	国のお金	5,176万円	施策実現のための 主な事業費	重要伝統的建造物群保存事業	6,590万円
	県のお金	2,804万円		資料館費	3,921万円
	市の借金	2,920万円		埋蔵文化財発掘調査事業	3,154万円
	その他	50万円		歴史まちづくり事業	1,526万円
	市のお金	6,278万円		その他	2,037万円

市民が地域の歴史や文化をよく理解し、横手に誇りを持って暮らしていることを目指します

主な具体的取り組み事業

- ◆重要伝統的建造物群保存事業 (6,590万円)
保存地区において、伝統的建造物等の修理・修景や、防災施設等の整備を実施します。また、保存団体や伝統的建造物公開活用への支援のほか、町並み継承のための相談会や説明会を実施します。
- ◆歴史まちづくり事業 (1,526万円)
市内の歴史文化の総合的な把握と活用方針を定めるため、文化財保存活用地域計画の策定を進めます。また、横手市歴史的風致維持向上計画に基づく映像作成や北部重点区域の整備方針を検討するほか、協議会を開催し計画の進捗評価と進行管理を行います。



増田のまちなみの様子

3-1 安心して暮らすことのできるまちづくりの推進 事業費 7,041万円

財源	国のお金	458万円	施策実現のための 主な事業費	交通安全対策事業	2,118万円
	県のお金	37万円		交通安全施設整備費	2,091万円
	市の借金			老朽危険空き家対策事業	1,508万円
	その他	40万円		市民相談事業	754万円
	市のお金	6,506万円		その他	570万円

事故や犯罪、消費者が巻き込まれる悪質商法や特殊詐欺等の被害が減少し、市民がお互いに助け合いながら、安心して生活を送り、また、必要なときには専門的な相談が受けられ、問題の解決に結びつく方法を速やかに見出すことができることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆市民相談事業 (754万円)

人権相談、法律相談、消費生活相談など各相談窓口を設置します。

◆老朽危険空き家対策事業 (1,508万円)

第2期空家等対策計画を作成するほか、老朽化して地域に悪影響を及ぼす空き家への対策を行います。



3-2 美しい自然環境と快適な生活環境の保全 事業費 4億659万円

財源	国のお金	1,537万円	施策実現のための 主な事業費	衛生センター費	1億8,726万円
	県のお金	3,541万円		斎場施設費	1億2,968万円
	市の借金	1億2,460万円		水と緑の森づくり事業	2,414万円
	その他	3,008万円		休廃止鉱山坑廃水処理事業	2,050万円
	市のお金	2億113万円		その他	4,501万円

水と緑と人が共生し、貴重な動植物が保全され、また、まちの美観は損なわれることなく、河川などの豊かな自然環境が市民のやすらぎの場となるなど、快適な生活環境が実感できることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆衛生センター長寿命化事業 (5,110万円)

長寿命化に向けて、計画的に施設の改修工事を行います。

◆有害鳥獣対策事業 (262万円)

有害鳥獣による人身被害の防止と農作物被害の抑制のため、有害鳥獣被害対策実施隊活動を推進します。

◆水と緑の森づくり事業 (2,414万円)

秋田県水と緑の森づくり税を活用し、広葉樹林の再生や森林公園の整備、人里でのツキノワグマの出没を抑制するための緩衝帯整備などを実施し、森林環境や公共性を重視した森づくりを推進します。



整備後の緩衝帯

3-3 災害に強いまちづくりの推進

事業費 7億3,010万円

財源	国のお金	549万円	施策実現のための 主な事業費	常備消防施設等整備事業	2億6,362万円
	県のお金	386万円		非常備消防経費	1億4,755万円
	市の借金	3億2,620万円		常備消防経費	1億1,149万円
	その他	470万円		消防施設整備事業	7,445万円
	市のお金	3億8,985万円		その他	1億3,299万円

消防や救急体制がより充実し、防災等に関する地域の取り組みが活発に行われ、安全・安心に暮らせるまちづくりが進んでいることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆避難行動要支援者個別計画等策定事業 (510万円)

災害時避難支援が必要な方に対し、支援者や避難方法、避難場所等を定めた個別計画を策定します。

◆雨水排水対策事業 (6,100万円)

浸水被害があった市街地の雨水の排水が適切に行われるよう対策を進めます。



平成29年7月豪雨時の金沢地区浸水状況

◆常備消防施設等整備事業 (2億6,362万円)

消防施設の充実を図るため、更新基準年数に達したはしご車の更新等を行います。

◆消防施設整備事業 (7,445万円)

災害に強いまちづくりのため、消防本部と連携して消防団の施設整備と消防用水の充実を図ります。



横手市所有のはしご車



消防団が使用する軽積載車

3-4 循環型社会の一層の推進

事業費 14億 73万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	旧環境保全センター解体事業	3億9,829万円
	県のお金			ごみ収集費	3億9,603万円
	市の借金	3億7,760万円		クリーンプラザよこて費	3億7,069万円
	その他	3億 344万円		最終処分場管理運営費	1億5,146万円
	市のお金	7億1,969万円		その他	8,426万円

市民一人一人が「もったいない」を心がけたライフスタイルを取り入れ、豊かな自然と快適な地域社会の共存が実現していることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆ごみ収集費 (3億9,603万円)

家庭からごみ集積所に出されたごみの収集経費や指定ごみ袋作製等に関する経費です。

◆南東地区最終処分場長寿命化事業 (1億1,314万円)

埋立が完了間近な南東地区最終処分場の第一区画をシートと土で覆う工事等を行います。

◆ペットボトル等処理センター費 (2,363万円)

ペットボトル等処理センターは、家庭から廃棄されたペットボトルやプラスチック製容器包装類を再商品化するための中間処理施設です。中間処理に必要な設備の維持補修や部品交換工事等を行います。



ペットボトル処理機械

3-5 エネルギーの地産地消の推進

事業費 204万円

財源	国のお金		施策実現のための 主な事業費	地球温暖化防止対策事業	164万円
	県のお金			カーボンオフセット地球温暖化対策事業	40万円
	市の借金				
	その他				
	市のお金	204万円			

地域にある再生可能エネルギーが公共施設、個人住宅、事業所等において有効活用されていることを目指します

主な具体的取り組み事業

◆地球温暖化防止対策事業 (164万円)

地球温暖化防止対策を推進するため、融雪をはじめとした地中熱を利用した設備導入への補助を行い、普及を促進します。

◆カーボンオフセット地球温暖化対策事業 (40万円)

CO2を吸収してくれる森林を将来にわたり守り続けるため、その整備費用の一部をCO2排出側から提供を受け、同時にCO2排出削減による地球温暖化対策としてカーボン・オフセットの普及を図ります。